

故 永野光哉氏に名誉市民の称号を贈呈



熊本日日新聞社名誉会長
永野 光哉 氏

惜しくも本年3月1日、不慮の事故で逝去された、阿蘇市湯浦出身の故永野光哉元熊本日日新聞社名誉会長（享年81歳）に、7月14日、阿蘇市第1号となる『名誉市民』の称号が贈られました。

名誉市民とは、社会文化の向上発達に卓越なる功績があり、郷土の誇りとして尊敬される方に対し、市議会の同意を得て選定するもので、本年3月定例議会で決定しました。

永野氏は昭和28年熊本日日新聞社に入社。記者として、また経営者としての能力が認められ昭和60年55歳で取締役社長に就任。平成9年には代表取締役会長、平成14年からは名誉会長として熊本日日新聞社の経営基盤を見事に作り上げられました。また、日本新聞協会理事や共同通信社理事、副会長を務め、新聞をはじめとする我が国の言論機関の健全な発展に貢献。地域社会においても熊本県体育協会展会長、熊本ユネスコ協会会長などを務め、熊本県の振興や福祉の向上に多大な功績を残されました。そして何より、故郷「阿蘇」を大切にされた方であり、いち早く阿蘇の自然環境を守る必要性を訴

え、財団法人阿蘇グリーンストックの設立等に奔走。副理事長として草原維持運動を推進されました。また郷土愛に満ち溢れ、在熊阿蘇ふるさと会の会長、100万人のふるさと阿蘇会長などを歴任。まさに永野氏は、社会的業績と故郷阿蘇への熱き思いを併せ持った阿蘇市が誇る人物と言えます。

※永野氏は湯浦の父義光氏、母チエ氏の長男として誕生。小学校までの幼少期を湯浦で過ごしています。母子工さんの実家も隣地区の南宮原（竹本家）とあって、祖父母がいる両家を行き来し、田んぼや川（琴川）で遊びのびのびと育っています。小学校からは熊本市内で

暮らしますが、阿蘇での生活は永野氏の脳裏に永年しつかりと焼きついていたようです。



▶ 名誉市民選定書の贈呈は熊本市の永野氏の自宅で行われ、佐藤市長（左）が妻の恵美さん（中央）へ手渡しました。右は古木副議長

新しい阿蘇中学校の「校章」と「制服」が決定しました！

校章については公募を行った結果、56件の作品が提案されました。いずれの作品も新しい中学校と子どもたちの将来への思いが込められた、素晴らしい作品ばかりで、難しい部分もありましたが、作者情報を伏せた上で、厳正な審査を行った結果、次のデザインが選考されました。

新しい制服及び体育服については、統合準備委員会において、「保護者や子どもたちに直接選んで欲しい」との思いがあり、阿蘇中及び阿蘇北中学校区内の関係世帯に1票ずつ投票用紙を配付し、選考投票を行いました。



▲ 選考投票のため両中学校に設けられた展示会場の様子。
「セーラーや詰襟も中学生らしくていい。悩めますね。」と皆さん真剣に選ばれていました。

居関孝男さん
(京都市西京区、60歳)
の作品



立志哲洋さん
(東京都江東区、60歳)
の作品



【優秀賞受賞者】

【受賞した井口さんのコメント】
デザインについては、阿蘇中学校のローマ字頭文字「A」をモチーフに、中学校の「中」の文字を配し、統合した2校をイメージする「阿蘇山・阿蘇五岳」と市の木「ミヤマキリシマ」を表しました。
生徒の皆さんと一緒に「校章」が、勉学・スポーツ・芸術・文化など様々な分野で、末永く活動・活躍されますことを作者として、心より祈念しております。



▲ 最優秀賞に輝き新阿蘇中学校の校章となった作品

【最優秀賞受賞者】

井口 やすひさ さん

群馬県高崎市、66 才
グラフィックデザイナー

投票期間中には、両校に展示会場が設けられ、ブレザータイプ及び詰襟とセーラータイプの2つのタイプが展示され投票が行われました。
そして開票の結果、ブレザータイプ（下の写真）に決定しました。
なお、投票時に、皆さまから制服に対する要望・ご意見等を伺っており、今後、それらを考慮しながら最終デザインとします。
また、体育服についても、同時に投票を行い、選考決定しました。

【制服デザインの経緯】

有名デザイナー田山淳朗氏が阿蘇市に住宅を建設されたことで、田山氏の知人の紹介を頼りに、制服のデザインをお願いをしたところ、「これから阿蘇に居を構えお世話になる身ですから、私程度で力になれる部分があれば、全面的にボランティアで協力をさせていただきます。」とご快諾いただきました。

実際に、デザイン料から監修に至るまで、完全無償によるボランティアでのご協力をいただいていることに加え、デザイン・著作権等についても、田山氏と阿蘇市の共有としていただき、オリジナリティーを守っていくなど細部に至るまで、全面的にご配慮をいただいています。

パリコレデザイナーによる完全オリジナルの制服！



▲田山 淳朗 氏

パリコレクション等で世界的に活躍されているデザイナーの田山淳朗氏。その才能が発揮されすばらしいデザインを阿蘇市へプレゼントいただきました。

制服業者に状況を尋ねたところ、「著名デザイナーの既成品の例はあっても、公立の中学校において、著名デザイナーによる完全オリジナル制服は、全国的にも例がないのでは」と驚いておられました。



▲ 新阿蘇中学校の制服
(なお、新1年生からの着用となります)

【プロフィール】 誌面の都合上情報抜粋

1982 株式会社ヨージ・ヤマモト退社後独立。株式会社エー・ティー設立、「A.T」発表
1989 渡仏し、A.T FRANCE s.a. 設立。パリにてATSURO TAYAMA ブランド スタート
1990-1994 フランス キャッシュレル社レディース・デザイナー契約
1991 ATSURO TAYAMA パリ・プレタポルテコレクション参加
1992-2005 株式会社ワールド「O・Z・O・C」「INDIVI」「BOYCOTT」「VOICE MAIL」
「COUP DE CHANGE」クリエイティブディレクター契約
2005- クロスプラス株式会社 顧問就任 その他複数社とのディレクター契約

◆ワーキングユニフォーム

ANA (全日空) グループ新ユニフォームデザイン契約
(キャビンアテンダント、グラウンドスタッフ)
PARCO インフォメーションスタッフユニフォームデザイン

◆学校制服

横浜女学院中学校・高等学校制服デザイン
九州学院中学校・高等学校制服デザイン
八王子実践高等学校制服デザイン

農業委員一般選挙

阿蘇市農業委員37人が決まりました



▲会長に選任された古閑昭憲氏。
「厳しい農業情勢は続きますが、優良農地の確保や耕作放棄地の解消等、阿蘇市の農業発展を目指し尽力しますのでよろしくお願い申し上げます。」と、就任の言葉を述べられました。

任期満了に伴い7月10日に執行予定であった農業委員一般選挙は、全ての選挙区で定数を超えなかったため選挙は実施されず、30名の立候補者と市議会推薦者4名、農業団体推薦者3名、合わせて37名の農業委員が決められました。また、7月20日に行われた農業委員会総会で、会長に古閑昭憲氏、会長職務代理者に加久文男氏が選任されました。

農業委員会は、農地の利用集積や農地の権利調整、農業経営の合理化など、農地の効率的な利用促進に関する業務を処理します。農地の売買や貸借、農地転用などについてのご相談がございましたら、各地区の農業委員にお尋ねください。



▲7月15日に行われた当選証書交付式の様子。

阿蘇市農業委員名簿

氏 名	担 当 地 区	氏 名	担 当 地 区
寺川 隆文	東2区、町全区、北全区	森 雄治	道尻、下役犬原、上役犬原
室 恒和	西全区、塩塚、古神全区	西村 正一	西町、蔵原、竹原
□後藤 勝美	東1区、東3区、分全区	西村 秀雄	西町、蔵原、竹原
柚上 広昭	馬場、豆札	宮本 和誠	元黒川、南黒川、上西黒川
石田 隆之	古閑、神石、福岡、上町、東仲町	児玉 正孝	元黒川、東黒川、坊中、北黒川
※宮崎 昌文	西仲町、下町、桜町、福原	伊藤 次幸	乙姫、下西黒川、黒川千丁
○小林 功欣	馬場、豆札	○江藤 俊一	東黒川、坊中、北黒川
市原 伸博	古城1区、古城2区	森本 一仁	小倉、西小倉、小池、黒流町、今町
古閑 公宏	古城3の1区、古城3の2区、古城4区	山本 清五	小野田町、新村、下の原、本村
堀 範三	古城5の1区、古城5の2区、古城6区、古城7区	井 建次	山田、原の口、鷲の石、茗ヶ原
田端 秀吉	上東下原、上井手、下井手、原口	本田 嗣夫	内牧全区、小里
加久 文男	下東下原、西下原、片隅、荻の草、舞谷	宮本 数廣	成川、宇土、折戸、浜川
△岩本 弘史	西井手、上西河原、下西河原、中原	大塚 幸矢	西湯浦、湯浦、南宮原、深葉、西小園
江入美榮子	跡ヶ瀬、的石	武藤 正二	立塚、横堀、遊雀、中道
草尾 安幸	狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区	阿南 末雄	小園、小池野、笹倉
古閑 昭憲	狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区	岩下 義國	坂の上、大道
島川 和也	永草、枳	渡邊 恵喜	山崎、仁田水、中江、滝水
日田 力男	赤水、車帰	○佐藤 徳雄	檜木野、中江、赤仁田
○上野 政重	赤水、車帰		

○＝市議会推薦、□＝農協推薦、△＝農業共済推薦、※＝土地改良区推薦